

1 本年度の重点教育目標

「互いに学び合い、探究する子ども」

2 本年度の取組の重点

- 1 「しっかり学ぶ力」を育て、自らの生き方を創り出す能力を育成する教育の推進
- 2 すこやかな心を育て、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進
- 3 健康な体とのぞましい生活習慣をはぐくむ教育の推進
- 4 学校における指導体制や業務等の改善と充実
- 5 保護者・地域住民に信頼される開かれた学校づくりの推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
1 「しっかり学ぶ力」を育て、自らの生き方を創り出す能力を育成する教育の推進	基礎的基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して思考力・判断力・表現力をはぐくむとともに、探究する能力の育成を目指す多様な学習活動の工夫ができたか。	b	・1人1台のパソコンを活用した学習活動の工夫の充実を図る。 ・学習活動を工夫し、より深い学びを実現する授業づくりを進める。	A	A	・在宅でもパソコンを用いて臨機応変に対応できるように取り組んでいただきたい。
	主体的な学習習慣の定着を図る取組の工夫・改善を図ることができたか。	a		A	/	
2 すこやかな心を育て、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進	「特別の教科道徳」を中心とした道徳教育の充実を図ることができたか。	a		A	/	
	あいさつや集団生活の約束を身に付けるための指導の工夫を図ることができたか。	b	・約束について考える場面を設定し、自分たちで生活を向上させる意識を育てる。	A	A	・大切な考え方だと思うので、人と人とのコミュニケーション、約束の大切さを身に付けてほしいと思います。
3 健康な体とのぞましい生活習慣をはぐくむ教育の推進	基本的な生活習慣について家庭や関係機関との連携を図った取組の充実を図ることができたか。	b	・ゲームやスマホ等についての指導を改善するとともに、家庭と連携した取り組みを工夫し改善する。	A	A	・今後もゲームやスマホとの関りは、これからの時代にとって考えていただきたい。
	体力の向上や運動習慣の定着のための取組の工夫を図ることができたか。	a		A	/	
4 学校における指導体制や業務等の改善と充実	教育目標の実現に向けて、教職員が相互に連携しながら取り組むことができたか。	a		A	/	
	学校における業務改善に向けた取組を進めることができたか。	b	・業務の内容・分担の見直しをさらに進め、できることから迅速に取り組み改善を図る。	A	A	・先生方の負担が相当増えていると感じます。家庭での協力を得てバランスを取って取り組んでいただければと思います。
5 保護者・地域住民に信頼される開かれた学校づくりの推進	家庭・地域と一体となった学校運営を推進できたか。	b	・コロナ禍の中で取組が可能なものを模索し、家庭・地域との連携を一層深める。	A	A	・先生と家庭、地域でしっかり連携して、様々な危機を乗り越えていきたいと思います。
	巴中校区小・中連携事業を推進し、9年間を見通した教育活動を進めることができたか。	a		A	/	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。